

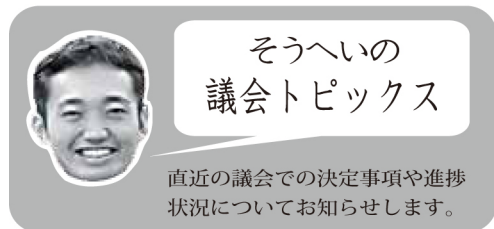
皆様、いつもお世話になっております。梅雨明け以降、厳しい暑さの続く毎日ですが、お変わりございませんでしょうか。

奄美市議会の6月定例会が終了とほぼ同時に参議院議員選挙に突入し、さらに熱い夏となりました。国政の動向も大事であり、また11月に行われる奄美市長選挙もこれからの奄美市を方向付ける大事な機会となります。皆様と一緒に、将来の奄美のことを考えていき

たいと思います。そのためにも、政治・行政の情報をごんごん発信し、皆様にも考えて頂いて、ご意見やお知恵を頂きたいと思えます。その手段の一つとして、この『志通信』をご活用頂ければ幸いです。

暑さに負けぬよう気を付けながら、お互い汗をかいて、この夏を乗り越えていきましょう。

安田そうへい



## 1 平成 25 年第 2 回定例会（6 月定例会）における主な議案等です。

- 25 年度一般会計補正予算第 1 号（緊急経済対策事業 1.4 億円、起業支援型地域雇用創造事業 4 千万円、海岸漂着物対策推進員 17 百万円等）3.8 億円  
⇒ 結果、25 年度一般会計総額は 312 億円
- 緊急経済対策事業の主な内容は、公営住宅の整備改修、広葉樹等の再生、ガードレール設置、小中学校の整備改修・備品購入等
- 起業支援型地域雇用創造事業の主な内容は、定住促進情報発信事業、島じゅうりまごころ便事業、「わきゃ島の伝承本」を通じた人材育成事業等
- 25 年度国民健康保険事業・介護保険事業の 2 特別会計の補正予算
- 新型インフルエンザ等対策本部条例
- 希少野生動植物の保護に関する条例の一部改正
- 生活保護基準の切り下げ撤回等について国に意見書提出を求める陳情 ⇒ 不採択となりました

## 2 本庁舎建設提言特別委員会について

民間委員を交えた「本庁舎建設基本構想策定委員会」開催の後に、市議会の本特別委員会は開かれています。現在のところ、26 年末までに新しい本庁舎の位置・規模・機能等が決められ、31 年度末までに、建設工事が完了する予定です。

## 3 「奄美・琉球」世界自然遺産登録推進特別委員会について

6 月定例会において、本特別委員会の設置が決まりました。先日は環境省 O B で屋久島の世界自然遺産登録に尽力された小野寺浩氏をお招きしての議員研修会もありました。登録に向けて、コクトくんとともに後押ししていきたいです。



【委員会制度】：専門部門別に審査を分担する制度。

【常任委員会】：特定の部門に属する市の事務に関する調査を行い、議案や陳情等を審査するための常設の委員会。現在、奄美市議会には「総務企画・産業建設・文教厚生」の 3 つがあり、議員はいずれかの委員会に所属しています。

【議会運営委員会】：議会の運営を円滑・効率的に進めるための委員会。定例会の日程や議案や陳情等を付託する委員会などを決定します。

【特別委員会】：特定の事案に限って設置される臨時的な委員会で、その審査や調査が終了すれば消滅します。

そうへいの  
一般質問レポート

冒頭の  
所見

議員としての政治思想や  
信条を表す思い・メッセージ。



今回の一般質問では、奄美市の人口減少問題を採り上げ、その対策として①出生促進、②育児支援、③定住促進、④産業育成による雇用拡大について行政当局とやりとりをしました。その主な内容は 8 月発行予定の『奄美市議会だより』に掲載されま

すので、議員としての政治思想や信条を表す重要なメッセージである冒頭の所見と最後のまとめの部分をご紹介します。

今

年の、あるいは今年度の奄美市の最大の課題は何でしょうか？ 人によって、いろいろと考え方はあるでしょうが、私には何よりも、「景気の回復」であり、「経済の活性化」であると考えます。このことがひいては、「安定的な雇用の拡大」につながるからです。

昨

年末の衆院選による政権交代と、それに続く安倍総理の主導する「アベノミク

ス」という経済政策のおかげで、たしかに 5 月下旬頃より為替相場や株式市場では不安定な動きも見られますが、少なくとも前政権の時代よりは確実に日本全体の景気の状態は良くなってきたのではないかと感じております。

もちろん、首都圏や一部の大企業を中心に始まった景気回復の効果も、地方に、また海外離島のこの奄美市に取り込んでいくためには、一定の時間がかかるでしょうから、多くの市民の皆様にとって、その実感はいまだ乏しいといわざるを得ませんが、機動的な財政政策によって公共投資が増えたことは、建設業界

も

に携わる方々を中心に大きな安堵感を抱かせたのではないかとすることも察するところでもあります。

もちろん、公共投資に過度な期待をしたり、政府からの様々な仕送りだけをあてにしたりするだけでは、奄美市の本格的な景気回復は成しえませんが、ここは「アベノミクス」の多様な効果をしつかりと捉えて、それらを着実に奄美市に取り込むために、積極的に打って出る姿勢が必要であると考えます。

以

上のような思いを踏まえて、今回の一般質問は経済政策を中心に構成したいと考えておりましたが、

先の 3 月定例会終了から今日に至るまでの各種報道の中で最も衝撃を受けた記事は、何を隠そう人口減少の話題でありました。いろいろと異論はあるかもしれませんが、私は経済政策や産業育成はその時の景気の変動にも左右される、いわば短中期的な課題と捉えられ、

先日の 3 月定例会終了から今日に至るまでの各種報道の中で最も衝撃を受けた記事は、何を隠そう人口減少の話題でありました。いろいろと異論はあるかもしれませんが、私は経済政策や産業育成はその時の景気の変動にも左右される、いわば短中期的な課題と捉えられ、

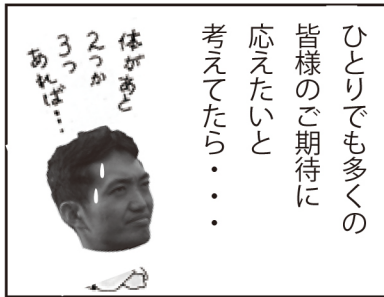
4 ～ 7 月上旬  
の主な活動

- 4 / 5 ～ 12 関東出張 (自主的な調査・研究等)
- 20 ネット選挙運動解禁についての新聞取材対応
- 21 奄美ひと・もの交流プラザ開設記念式典
- 23 地元選出県議会議員と市議会の意見交換会
- 5 / 1 住用町嘱託員会 (区長会)
- 7 ～ 10 文教厚生委員会での行政視察 (大阪府枚方市・和歌山県新宮市・同那智勝浦町)
- 13 議会運営委員会、会派代表者会 (代理出席)、議会だより編集委員会
- 16 ～ 17 奄美群島市町村議会議員大会@天城町、徳之島視察
- 24 本庁舎建設提言特別委員会
- 25 活動報告会@四谷分館
- 29 柿赤忌 (谷村唯一郎先生を偲ぶ会)
- 6 / 4 企業朝礼にて活動報告
- 12 議会運営委員会
- 17 6 月定例会開会 (市長の専決処分の承認、議案 1 件を可決)
- 18 ～ 20 一般質問 (19 日の 3 番目に登壇)
- 24 本会議 (総括質疑、議案 1 件を可決)
- 25 ～ 26 各委員会審査 (文教厚生委員会に所属)
- 28 議員研修会 (小野寺浩氏)
- 7 / 5 最終本会議 (一般会計補正予算等議案 9 件を可決)



# 壮平がいく！

画：志之助



ると考えていますが、人口減少問題こそは、効果が即効的に表れにくく、しかもじわじわと進行しながら地域を確実に衰退させていく、地域にとつての「死に至る病」であり、中長期的に取り組むべき課題であると考えております。もちろん、どちらも重要な課題であることは論を俟ちません。

先般、国の研究機関により、奄美市および奄美群島にとって衝撃的な将来推計人口が発表されましたので、どうしてもこれを採り上げなければならぬと、人あつての経済だと考えまして、通告のような質問の構成になりましたことをお伝えしたいと思えます。もちろん、経済が豊かなところに人も集まりますし、経済の豊かさが人をつなぎ留めるといふことも一面の真理であります。そこは今回の最後の質問で採り上げて、「アベノミクス」を生かした観光・

交流産業育成のあり方についてやりとりをさせて頂ければと考えております。(後略)

・最後のまとめ

今 回の一般質問では、人口維持策として、国立社会保障・人口問題研究所が先般発表した「日本の地域別将来推計人口」に基づきながら、自然減対策や社会減対策など関連する課題に触れつつ、やりとりをさせて頂き

ました。今回の一般質問の最大の狙いは、「危機感の共有」にあるといつても過言ではありません。

今から27年後の2040年には、人口が1万5千人減って3万人になる。1万5千人という数字は、たとえば私が今住んでいる四谷・奄美地区人口9100人と伊津部地区人口4400人を合わせた数よりも多いです。その分が失われると。また、合併前の旧名瀬市は、

平成17年の人口が4万1千人でした。今回のこの発表では、6年後の2019年(平成31年)には奄美市の人口がちょうど4万1千人になるということです。ちなみに、この頃に名瀬本庁舎の建て替えが完了するということがあり、このような情報もきちんと本庁舎建設基本構想策定委員会に生かして頂きたいと思えます。

政 治にも行政にも、大事なことは、そのような危機的な将来、さびしい未来をリアルに、具体的に想像しながら、ではどうするかと、根本的にどうするかと、民間の方々も交えながら、真剣に話をしていくことではないかと思えます。

難 題から逃げずにきちんと向き合う、このままではいけないという危機感を醸成し、地域の人たちと共有して議論をしていく。このような力強いリーダーシップを、「次期に向けて努力する」とおっしゃった朝山市長にさらに發揮して頂くようご期待申し上げます。今回の一般質問をしめくくらせて頂きます。

夢の中で分身できました。この人口減少問題について、皆様からご意見を頂ければと思えます。今後ともご指導のほど、よろしくお願いたします。

# 特 集

文教厚生  
委員会での

## 行政視察報告

5月7日から10日まで、3泊4日の行程で関西地方の3市町村を訪問して、行政視察を行いました。  
以下、調査概要を報告します。

(詳細な調査報告書は、ブログ「志の島へ」5月15日付に掲載しております)。



### 【枚方市】

#### 「小中一貫英語教育」

7日(火)：大阪伊丹空港到着、枚方市訪問、枚方市宿泊

人口40万8千人。市内に6つの私立大があり、小中高と大学との連携をはじめ、「教育のまち」として力を入れている。平成18年度から「小中一貫英語教育」として、小学5年生から英語教育を導入。市の独自予算(約1.2億円)で英語指導助手(日本人・外国人)を雇用し、全小中学校に配置。学力テストにおいて英語の成績に良好な結果が出ている。



### 【那智勝浦町】

#### 「世界遺産を守る取り組み」

9日(木)：那智勝浦町訪問、大阪市へ移動・宿泊(10日は帰省のみ)

人口1万7千人。熊野三山の一つである熊野那智大社と日本三大名瀑に挙げられる那智の滝が有名。まぐろの水揚げは国内有数で、漁業と観光に力を入れている。

那智の滝を守るために基金を設け、水源

涵養林の購入を計画。また、景観

保全条例を制定し、世界遺産区域周

辺での開発行為等を規制。

23年9月の台風被害の爪跡は

生々しいが、少しずつ観光客が戻

つつある。

### 【新宮市】

#### 「介護予防の取り組み」

8日(水)：和歌山県新宮市へ移動、新宮市訪問、那智勝浦町へ移動・宿泊



人口3万1千人。熊野三山の一つである熊野速玉大社の門前町として栄え、また熊野川の舟運を利用した木材の集散地であった。高齢化率31.8%(奄美市25.8%)。65歳以上の介護認定を受けていない方を対象に、運動教室を実施。一定期間後には自主サークルへの移行を推奨。自主的な活動の促進により、地域の見守り機能の強化を目指している。南海トラフ地震等防災対策にもつなげようとしている。



### そうへいからの お知らせ

#### ●「出前報告会」

を行います！

今回は、9月3日より9月定例会が始まる関係で、定期の報告会を見送ります。ご要望いただければ、出張報告に伺わせていただきますので、よろしく願いいたします。



よろしく  
お願いします！

●本チラシの「配布ボランティア」を募集しております！

●お困りごとや奄美市へのご要望等ありましたら、お気軽にお寄せください！

●しーまブログ、ツイッター、フェイスブックでも活動情報発信中です！

※安田そうへい連絡先：

奄美市名瀬古田町5-7

電話：54-7621 / FAX：54-7620

Eメール：sohei@mskj.or.jp